

大阪北部地震で被災した高槻第一教会ために お祈りと支援献金のご協力を！

9月6日(木)未明に「北海道胆振東部地震」が発生し、被害の詳細が次第に明らかになってきております。総務局及び緊急支援対策室では、北海道教区内の教会と信徒の安否について、教区長からの連絡を待っている段階にあります。被災された方々のために、とくに生存が確認できていない方々が一刻も早く救出されるよう、祈ってまいりたいと思います。

さて、大阪北部地震で被災した高槻第一キリスト教会の山口登久牧師より、次のような新たな被害報告が届いております。

6月18日(月)に発生した大阪北部地震から、2ヶ月半が過ぎました。当初の報告において、震度6弱の強震が襲った高槻市内にある当教会では、人身被害はなく、教会の本棚や食器類が散乱し、長さ5メートルの教会ブロック塀が倒壊したという報告でした。

ところが、2ヶ月前の7月初旬、広範にわたって甚大な被害をもたらした西日本豪雨の際、礼拝堂に大量の雨漏りが起こりました。すぐに業者に診断してもらったところ、地震によって屋根全体が大きなダメージを受け、屋根瓦の多数がずれて破損していることがわかり、早急に屋根全体を葺き替える工事が必要とのことでした。しかし、今回の地震では市内で約2万軒が被災し、建設業界では人手が不足、いつ工事を開始できるか分からないという返答でした。その後感謝なことに、関西在住のアメリカ人とカナダ人の宣教師がボランティア作業に来られて危険な2階屋根の上に登り、応急処置としてブルーシートを張ってくださいました。

ところが、そのブルーシートも9月4日(火)の台風21号の通過で飛ばされ、破損した瓦が道路に散乱しました。幸い、隣家や通行人に危害を与えることはありませんでしたが、速やかな屋根の葺替工事は必要とされています。

以下の見積額で業者と折衝し、遅くとも10月から工事を始めて、年内には終了するように願っています。どうぞ当教会の今後の地震復旧工事のためにお祈りください。

*復旧工事見積総額 255万円

(内訳：①屋根葺替工事200万円 ②天井工事20万円 ③塀工事30万円 ④瓦礫処理代5万円)

以上の報告を受け、緊急支援対策室で協議した上で、教団委員会では工事総額の半額となる1,275,000円を緊急支援基金より援助し、そのための支援献金を募ることにいたしました。高槻第一教会のためにお祈りくださり、支援献金のご協力をよろしくお願い申し上げます。

支援援献金目標額 1,275,000円

なお、支援献金が目標額以上に与えられた場合には、次の災害に備えるため「緊急支援基金」に繰り入れさせていただきます。

2018年9月7日

日本ホーリネス教団 委員長 島津 吉成
奉仕局長 佐藤 義則
緊急支援対策室長 山田 智朗

支援献金をおささげくださる方は、以下の口座をご利用ください。

*郵便振替 00190-4-545635 *口座名 「日本ホーリネス教団緊急支援対策室」

*通信欄に「高槻第一教会のため」と明記してください。

*郵便振替の控えをもって、領収書と代えさせていただきます。